

# 令和5年度 第4次かほく市行政改革実施報告書

◎第4次かほく市行政改革実施計画書項目数 **52項目**

・令和5年度 実施項目数	<b>41項目</b>
（うち目標達成項目数）	<b>34項目</b>
（うち目標未達成項目数）	<b>7項目</b>

令和5年度目標達成率 ……	<b>82.9%</b> (34項目/41項目)
---------------	-----------------------------

## <令和5年度目標未達成項目一覧>

### No.5 市民の健康づくりの機会創出

- ① 健康ポイント付与人数
- ② プラチナ体操参加人数
- ③ 健康づくり実施事業
- ④ スポーツ実施率

### No.7 専門的業務研修の実施

- ⑤ 研修機関への派遣

### No.13 市税等の収納率の向上

- ⑥ 保育料の現年度収納率
- ⑦ 介護保険料の普通徴収口座振替率

・令和5年度 実施項以外の項目数	<b>11項目</b>
（うち令和4年度までに実施済みの項目数）	<b>7項目</b>
（うち令和4年度までに実績検証した結果、不実施とした項目数）	<b>3項目</b>
（うち令和6年度に実績検証する項目数）	<b>1項目</b>

○第4次行政改革実施計画 項目一覧

重点項目	実施項目	主管課	達成状況及び実績報告必要年度					
			項目	R2	R3	R4	R5	R6
1 市民サービス向上	1 情報公開の推進	総務課	開示請求方法の拡充	○	○	○	-	-
		総務課	告示内容のHP公開	○	○	○	-	-
		情報推進課	HP更新	○	○	○	-	-
	2 パブリックコメント制度の推進	情報推進課	HP・広報意見等公表	○	○	-	-	-
		情報推進課	提出方法の検討	○	○	-	-	-
	3 定住促進の推進	企画振興課	住みよさ発信	○	○	○	○	→
	4 一体的な子育て支援の充実	こども家庭課	計画実施・推進	○	○	○	○	→
		こども家庭課	プラン実施・推進	○	○	○	○	→
	5 市民の健康づくりの機会創出	健康福祉課	ポイント付与人数	×	×	×	×	★
		長寿介護課	プラチナ体操参加人数	×	×	×	×	★
		長寿介護課	介護知識等習得割合	○	○	○	○	→
		長寿介護課	教室満足度	×	×	○	○	→
		生涯学習課	受講者満足度	○	○	○	○	→
		生涯学習課	健康づくり講座実施	○	○	○	○	→
		スポーツ文化課	健康づくり実施事業	×	×	×	×	★
		スポーツ文化課	スポーツ実施率	○	×	×	×	★
	6 機能的な組織の構築	総務課	窓口ワストップ化WGによる検討	○	○	○	○	★
		税務課						
		市民生活課						
		保険医療課						
		長寿介護課						
		こども家庭課						
	7 専門的業務研修の実施	総務課	研修機関への派遣	×	×	×	×	→
8 防災体制の強化	防災環境対策課	防災講座開催回数	×	○	○	○	→	
	防災環境対策課	マニュアル整備・公開	○	○	×	○	→	
2 民間活力の積極的活用	9 窓口業務（住民票・証明発行業務）	市民生活課	民間委託	○	○	△	-	-
		税務課	民間委託	○	○	△	-	-
	10 CATV（制作・放送業務）	情報推進課	民間活用洗い出し	○	○	○	-	-
	11 公用車（管理・運転業務）	総務課	民間委託	○	○	△	-	-
		健康福祉課	民間委託	×	×	×	○	-
		長寿介護課	民間委託	×	×	×	○	-
		学校教育課	民間委託	○	○	×	○	-

重点項目	実施項目	主管課	達成状況及び実績報告必要年度						
			項目	R2	R3	R4	R5	R6	
3 効率的な財政運営の確保	12 受益者負担/分担金の適正化	財政課	サービス対価の適正化	○	○	○	○	→	
		情報推進課	実効対応策定	○	○	○	-	-	
	13 市税等の収納率の向上	税務課	現年度収納率	○	○	○	○	→	
		税務課	滞納繰越収納率	×	○	×	○	→	
		税務課	啓発活動	○	○	○	○	→	
		こども家庭課	現年度収納率	○	○	○	×	→	
		保険医療課	国保税現年度収納率	○	○	○	○	→	
		保険医療課	普通徴収口座振替率	○	○	○	○	→	
		保険医療課	後期高齢現年度収納率	○	○	○	○	→	
		保険医療課	普通徴収口座振替率	○	○	○	○	→	
		長寿介護課	普通徴収口座振替率	×	×	×	×	→	
		長寿介護課	普通徴収収納率	○	○	○	○	→	
		都市建設課	現年度家賃収納率	○	○	○	○	→	
		都市建設課	業者選定	-	-	-	-	★	
		上下水道課	水道料現年度収納率	○	○	○	○	→	
		上下水道課	下水道料現年度収納率	○	○	○	○	→	
		上下水道課	受益者負担金現年度収納率	○	○	○	○	→	
		学校教育課	給食費現年度収納率	○	○	○	○	→	
		14 新たな財源制度の確保	財政課	税外収入の検証	○	○	○	○	→
			財政課	対象案件の検証	○	○	○	○	→
4 事務事業の継続的な見直し	15 人事評価に基づく効果的で適正な人員管理	総務課	目標達成の割合	○	○	○	○	→	
	16 定員管理の適正化	総務課	計画策定	○	○	○	○	→	
		総務課	事務分担明確化	-	○	○	○	→	
	17 事務事業の整理合理化	情報推進課	導入業務選定等	○	○	○	○	→	
		総務課	業務マニュアル見直し	○	○	○	○	→	



重点項目：1. 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】			
			項目	R2	評価	R3	評価	R4		評価	R5	評価
3 定住促進の推進 【企画振興課】	<p>・年層の定住を図るため、効果的な各種定住促進事業を検討、実施することともに、市の住みよさを効果的に発信する。</p>	<p>R5年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】</p> <p>◆新婚さん住みまい応援事業 申込件数：65件（R4：90件） 市民生活課と協力し、転入してきた新婚世帯へチラシを配布することで制度を周知したほか、市HPやSNSを活用し広くPRした。</p> <p>◆若者マイホーム取得奨励金 申込件数：194件（R4：204件） 若者マイホーム取得奨励金制度リーフレットを新婚さん住みまい応援事業活用者へ配布したほか、市HPや各種メディアを活用し広くPRした。</p> <p>◆UIJターン住みまい補助金 申込件数：10件（R4：10件） ILACからささと帰郷支援センターと連携し、県外からの移住者を獲得するため情報発信を行った。</p>	実施	○	→	○	→	○	→	○	→	
4 一体的な子育て支援の充実 【こども家庭課】	<p>・令和2年度からの第2期から、子育て支援は、こども・子育て支援事業計画に基づき、関係各課と連携し、一体的な子育て支援を実施する。</p> <p>・定住促進効果等により増加する乳幼児・児童に対応する為、更なるこども園や学童保育クラブの受け入れ体制強化策の検討を行う。</p>	<p>第2期子ども子育て支援事業計画に掲げる施策に基づき、支援を実施した。</p> <p>①「地域における子育て支援の充実」に基づき一体的な子育て支援を実施した。</p> <p>また、国のこども家庭庁移行に対応するため、R6年度から「こども家庭センター」の設置に向けて、既存の子ども総合センターを改修した。</p> <p>【こども家庭センター整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇ノ気生涯学習センター1階の改修（執務室拡充、空調単独化、LED化）</li> <li>・工事請負費＝35,512千円</li> </ul> <p>②「多様化するニーズへの取組」として、高校生通学定期券助成制度を創設し、高校進学のため市外へ通学を余儀なくされる家庭への経済的支援に努めた。</p> <p>【通学定期券助成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成実績 人数：870人/976人（89.1%） 助成額：32,793,000円</li> </ul>	子ども・子育て支援事業計画の実施・推進	○	→	○	→	○	→	○	→	

重点項目：1. 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	実施スケジュール（年度）										結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】		
		R5	R4	R3	R2	R6		R5		R4				
						評価	実績	評価	実績	評価	実績		評価	実績
【こども家庭課】	・妊産婦・乳幼児等の状況を把握し、支援が必要なケースに医療機関や児童福祉等の関係機関と連携を図り継続的包括的に支援を行う。	R5年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】 母子手帳交付時の面接：280件（R4：300件） 妊婦訪問：7件（R4：10件） 産婦・新生児訪問：297件（R4：309件） 幼児訪問：8件（R4：27件） 母子保健事例検討会：5回（R4：4回） 要対協進行管理会議への出席：6回（R4：6回） 個別ケース検討会：10回（R4：19回）  個別面接・訪問を実施し、育児に関する相談に応じることができた。また、児童福祉係や外部関係機関とのケース会議や、病院との連絡票を連携して個々の状況に合わせた支援に努めた。今後も継続実施する。	○	→	○	→	○	→	○	→	○	→		
5 市民の健康づくりの機会創出  【健康福祉課】	・健康プラン21を基に、健康ポイント等を活用した健康における知識の啓発、健康ウォーキング等を推進する。  ※H29年度活動量計活用型ウォーキング・健康ポイントラリー参加実人数1,200人	H28年度より看護大学・イオンとの連携による「か歩くウォーキング事業」を継続した。参加方法として、従来の活動量計に、いしかわスポーツマイレージを加え、395人（新規48人）が参加した。 健康ポイントラリー事業については、全12回延べ699人の参加となった。	×	→	×	→	×	→	×	→	×	→	1,500人  × 699人	健康レッスンをはじめとする集団形式の教室は、感染症が落ち着き、前年度より参加者が増加した。ウォーキングやスマートフォンを活用した健康づくりに即した健康対策や時代に即した健康づくりとして有用であるため、今後も継続実施し、個人の取り組みを促す環境整備の推進を図る。
【長寿介護課】	・地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う。	R5年度は1グループが廃止となったため、市内のグループ数は42となった。また、昨年度と比べると実参加人数は746人とやや減少した。プラチナポイント事業を実施し、1年間貯めたプラチナポイントをWAONポイントに交換できる事業を行った。 また、市公式YouTubeチャンネルやケーブルテレビにおいて、かほくプラチナ筋力アップ体操・かみかみ体操を継続して放送しているほか、コロナの流行が落ち着いてきた頃から、かほくプラチナかみかみ体操のDVDも地区に配布し、口腔機能の向上につながるよう実施を促した。	×	→	×	→	×	→	×	→	×	→	1,000人  × 746人	参加者や担い手の高齢化により、参加人数は目標を下回った。今後は担い手の確保や男性参加者を増やすためのための介護予防講座を行う。また、通いの場を開始して10年を迎えることから、10周年記念交流会を実施し、各団体相互間の親睦を深め、プラチナ体操のさらなる普及・啓発に努め、参加人数の増加を図る。

重点項目：1. 市民サービスマス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】					
			項目	R2	評価	R3	評価	R4		評価	R5	評価	R6	
【長寿介護課】	・介護者教室を開催し、介護の知識や介護力の向上、介護者間の交流の機会を確保する。	<p>〔家族介護者教室〕 適切な介護知識や技術の習得、介護サービスマスの適切な利用方法の確認等を目的とした教室を開催することにより、要介護被保険者の状態の維持・改善を図るとともに、家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。</p> <p>【開催】 ①R5.9.21「認知症について」19人参加 ②R5.10.16「口腔ケアについて」8人参加 ③R5.12.18「身体介護について」14人参加 ④R6.3.16「認知症カフェについて」6人参加</p> <p>市役所や石川県立看護大学、ましかど交流館等で実施。開催にあたり、広報紙、市公式LINE、声かけ等で周知を行った。</p> <p>〔男性介護者教室〕 男性介護者を対象に家族介護者教室を開催した。孤立化や問題の抱え込みを防ぎ、同じ立場の人と繋がる場を作る。</p> <p>R5.6.16 「認知症の方への対応について」5人参加</p> <p>※R6.1に予定していた料理教室については震災の影響で中止した。</p> <p>〔家族介護者交流教室〕 在宅で介護している家族に対して、介護から一時的に解放できるよう、介護者相互の交流会を開催し、心身の元氣回復（リフレッシュ）ができるよう支援した。</p> <p>R5.8.25 「みんなで気分リフレッシュ」（軽度な運動） 6人参加</p>	介護知識・技術の習得したと答えたい人の割合	80.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	80.0%		
			教室に満足したと答えたい人の割合	90.0%	×	87.5%	×	87.5%	○	90.0%	○	100%	90.0%	

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	実施スケジュール（年度）										結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】						
		項目	R2	評価	R3	評価	R4	評価	R5	評価	R6							
【生涯学習課】	<p>・市民の学習の場として開校している「かほく市民大 学校」において、健康づくりをテーマとする学習機会を提供する。</p> <p>・「かほく市出前講座」について、引き続き講座の分類に健康づくりに関する講座メニューを設ける。</p>	R5年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	<p>【具体的な実施内容】 （市民大学、出前講座等）市民や各種団体の生涯学習推進、行政の情報発信する機会として、市民大学講座と座メニューを準備して開催した。市民大学講座については、人気のあったテーマを連続講座としてシリーズ化し、開催した。出前講座については、コロナ禍前の開催数とまでいかないものの、徐々に増えている状況である。</p> <p>（アンケート実施）市民大各校の各講座開催時にアンケートを実施し、感想や評価、希望講座等を分析した。また、アンケート結果を踏まえ、翌年度の講座開催に反映し、さらに魅力的な講座開催に努めた。</p> <p>（情報発信）市HP、いいメールかほく、LINE公式アカウントなどの活用のほか、チラシを各小中学校、生涯学習施設へ配付するなど、講座開催の情報発信と参加者募集に努めた。</p> <p>学校・保護者間連絡システム「コードモン」について、各種講座情報の発信媒体の一つとして検討した。</p>	80.0%	○	91.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	83.4%	→	
【スポーツ文化課】	<p>・市民力テストをはじめとして、石川県立看護大学等との連携事業を継続・拡充し、更なる地域住民の健康づくりを推進する。</p> <p>・子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、健康で生きがいを感じる機会の充実を、市民の健康・体力の増進を図る。</p>	R5年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	<p>昨年に引き続き市民力テストを民間企業への委託により実施した。</p> <p>ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据えた新しいスポーツイベントの提供を検討し、年3回実施していたスポーツサキツやニュースポーツを幅広い世代にバラエティ体験会を年1回、市民交流大会（ペタンク）を年1回開催した。</p>	80.0%	○	91.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	80.0%	○	80.0%	→	
			健康づくり関連講座の実施数	→	○	5個	→	○	5個	→	○	5個	→	○	7個	→		
			健康づくり実施事業	→	×	0事業	→	×	0事業	→	×	1事業	→	×	2事業	→	3事業	
			市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率	→	○	78%	→	×	55.3%	→	×	56.2%	→	×	55.4%	→	70.0%	
																	市民ニーズの変化に伴う新たな目標設定が必要と感じる。看護大学や地域スポーツクラブとの連携の方策を再度検討していきたい。	
																	SNS等を活用した幅広いアンケート調査等によるスポーツへの動機付けが成果となるのは、もう少ししばらく時間がかかると考えられる。今後は、スポーツコミッションかほくとも連携し、「スポーツ=遊び」という観点も加えることでさらに実施率向上に努めていきたい。	

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】				
			項目	R2 評価	R3 評価	R4 評価	R5 評価	R6 評価					
6 機能的な組織の構築 【総務課】 【税務課】 【市民生活課】 【こども家庭課】 【保険医療課】 【長寿介護課】	関係各課によるワーキンググループを立ち上げ、その調整を行う。係ごとの業務を洗い出し、横断的業務や重複・類似業務の集約の検討を行う。	死亡に伴う手続を一元化して行う「おくやみコーナー」を、令和3年4月1日より運用している。 「おくやみコーナー」利用実績 予約あり：306件（R4：280件） 予約なし：122件（R4：192件）	ワーキンググループによる検討	○	→	○	→	○	→	○	まとめ		
7 専門的業務研修の実施 【総務課】	・ 国、県の専門研修機関を利用し、職員が専門的知識、技術を身につける。 【研修機関】 ・ 県市町村職員研修所 ・ 総務省自治大学校 ・ 市町村アカデミー ・ 国際文化アカデミー	職員に対し、各研修機関への専門研修を募集し、市町村アカデミー（住民税課税事務）に1人参加した。	国の研修機関への派遣	3人	× 0人	3人	× 0人	3人	× 2人	3人	3人	× 1人	近年、育児休業等職員が増加により、実期間にわたる研修の参加が難しくなっていることから、実働職員を優先するなど抜本的な対策が必要である。
8 防災体制の強化 【防災環境対策課】	・ 拠点避難所（市内9小中学校）の施設状況に合わせた運営マニュアルの見直しを行うほか、各種ハザードマップについても国・県からの区域変更の情報を適宜反映させて見直しを行い、様々な機会を捉えて防災士を始めとした市民に周知する。	児童保育クラブや市内の各小中学校で防災講座を実施した。また、県が主催する研修会にも毎回多くの方が参加した。対面開催の形式が多かったが、一部で動画配信サービスを活用したのもあった。 令和5年度は拠点避難所を2度（大雨・地震）開設した。その中で様々な課題が見つかったため、課題の整理・検討を実施した。	防災講座の開催回数	10回	× 5回	10回	○ 14回	10回	○ 15回	10回	10回	○ 13回	
	・ 拠点避難所ごとにマニュアルを整理し、ホームページに公開する。		マニュアルの整理・公開	整理 検討	○	整理 検討	○	整理 検討	×	整理 検討	○	HPへの公開	



重点項目： 2. 民間活力の積極的活用

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】				
			項目	R2	評価	R3	評価	R4		評価	R5	評価	R6
【健康福祉課】	<p>・現状、福祉巡回バスは運転業務のみ外部（シルバー人材センター）に委託しているが、車両の維持管理、運行管理、ルートの見直し等、行政が処理している業務も包括的に外部委託する。</p>	<p>■R5年度実績及び効果 【具体的な実績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費 14,120千円</li> <li>運行委託料 8,039千円</li> <li>燃料費 3,092千円</li> <li>自動車修繕費 2,339千円</li> <li>利用延べ人数=39,239人</li> <li>運行延べ日数=486日</li> <li>1日平均利用人数=81人</li> </ul> <p>車両の維持管理、運行管理については委託せず、運転業務のみ委託した。燃料費や人件費等の高騰が続くことが見込まれる現状においては、費用対効果の観点から業務の包括的な外部委託は難しいと判断した。</p>	民間委託	検討	×	→	×	実施	×	検討	○ (△)	-	
【長寿介護課】	<p>・老人福祉センター等のバスの運行や管理業務の民営化について検討を行う。</p>	<p>老人福祉センター利用延べ人数18,449人（うちバス利用者6,682人）燃料費や人件費等の高騰が続くことが見込まれる現状においては、費用対効果の観点からバスの運行や管理業務の民営化は難しいと判断した。</p>	民間委託	検討	×	→	×	実施	×	検討	○ (△)	-	
【学校教育課】	<p>・スクールバス及び学校給食センター配送業務を民間委託する。</p>	<p>学校の急な予定変更時の対応や、休日、長期休業期間の対応など課題が多く、また、委託費用が高額なことから、民間委託の実施は難しいと判断した。</p>	民間委託	検討	○	→	○	実施	×	検討	○ (△)	-	

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】
			R2	R3	R4	R5	R6	評価	
12 受益者負担/分担金の適正化 【財政課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の使用料や各事業において負担していた受益者負担金について、利用者負担の原則に基づき適正に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道使用料の改正の必要性について主管課との協議をしていたが、能登半島地震の発生により中断している。</li> <li>国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料の税・料率改正について、主管課と協議し、条例改正を行った。</li> </ul>	○	○	→	○	→	○	→
13 市税等の収納率の向上 【情報推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルテレビ使用料の未納に対する実効的な対応策を策定する。</li> <li>滞納者宅への書面及び電話に加え訪問による催告を実施する。</li> </ul>		○	→	○	策定	○	○	○
【税務課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>コールセンターとの連携を図り、現年度未納分に対する早期電話催告を行う。</li> </ul>	<p>納税コールセンター委託業務について、現年度分未納者を調査集約し、連携を図りながら電話催告を実施することとで現年度分の滞納防止につなげた。なお、令和5年度は受託業者の情報漏洩問題により10月で委託を打ち切った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>依頼件数1,549件</li> <li>内納税コールセンター調査による電話番号判明件数944件（60.9%）</li> <li>内納付承諾件数190件（12.2%）</li> </ul> <p>【現年度収納率実績数値】</p> <p>R2：99.08% R3：99.43% R4：99.41% R5：99.09% 調定：4,402,658,808円 収入：4,362,656,285円</p>	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%

重点項目：3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）							結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】					
			項目	R2	評価	R3	評価	R4	評価		R5	評価	R6		
	<p>・長期にわたる悪質な滞納者に対し、厳正に対処するため捜索等の滞納処分を実施し、処分可能な事案には速やかに執行停止を行い、メリハリの滞納整理を行う。</p>	<p>県滞納整理機構と連携し、効率的に滞納処分の進捗具合を見直し、速やかに滞納処分を実施するとともに、処分不可能なものは執行停止をし、滞納額の圧縮につなげた。</p> <p>【滞納繰越分収納率実績数値】 R2：14.65% R3：17.02% R4：8.46% R5：26.83% 調定：82,827,390円 収入：22,227,310円</p>	14.7%	×	15.7%	○	15.7%	×	15.7%	○	15.7%	○	26.8%		
	<p>・イベントや学校への租税教室を通じて納税に関する啓発活動を行う。</p>	<p>租税教室を市内小学校を対象に実施した。授業後には、授業を受けての質問が寄せられるなど、税への関心と理解を深めることができた。また、中学校の社会科授業の一環として税分野の講師派遣をし、授業や生徒との質疑応答を通じて税への知識と、なぜ税金が必要なのかなどを考えるきっかけとすることができた。</p> <p>【租税教室開催実績】 ・令和5年5月19日 高松小学校 【講師派遣実績】 ・令和5年11月29日 河北台中学校</p>	実施	○	実施	○	→	○	→	○	→	○			
【子ども家庭課】	<p>・保育料に係る未納額が少額のうち早期に滞納者へ納付を促す。また、高額滞納者などに対しては税務課と連携し、分納誓約や法的な手続を進める。</p>	<p>・各子ども園での園長から定期的な保育料納入の声かけを行い、滞納額の発生を未然に防いだほか、長期滞納者については、担当職員により定期的な納入案内を行った。</p> <p>【R5保育料】令和5年5月31日現在（現年度） ・調定額：70,256千円 ・収納額：70,209千円（99.9%）</p>	現年度収納率	100%	○	100%	○	100%	○	100%	○	100%	×	99.9%	1世帯のみ未納となり、目標の収納率100%には届かなかった。当該世帯は他の利用料にも未納があり、ライフラインへの支払いを優先し、保育料は分納誓約による分割払いで支払うこととした。

重点項目：3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）										結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】										
			項目	R2	R3	R4	R5	R6															
【保険医療課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>現年度収納率を上げるために口座振替を推進する。</li> <li>現年度収納率を上げるためには、新規滞納者の発生を防止することが重要であることから、関係課とも連携を図りながら次の事項を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>督促状の送付</li> <li>コールセンター等を活用した電話催告や文書による催告</li> <li>納付相談や随戸</li> <li>納税等の意思のない方には滞納処分</li> </ul> </li> </ul>	<p>現年度収納率実績数値</p> <p>R3：97.91%</p> <p>R4：98.12%</p> <p>R5：96.36%</p> <p>調定：571,910,000円</p> <p>収入：551,114,400円</p> <p>現年度収納率実績数値</p> <p>R3：99.93%</p> <p>R4：99.98%</p> <p>R5：100.01%</p> <p>調定：377,395,741円</p> <p>収入：377,423,840円</p>	国民健康保険税 現年度収 納率	95.0%	97.7%	95.0%	97.9%	95.0%	98.1%	95.0%	96.4%	95.0%	95.0%	結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】									
【長寿介護課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険料に係る新規滞納者の早期対応を強化する。</li> <li>65歳到達時期</li> <li>年金特徴から普通徴収への切替時</li> </ul>	<p>督促および催告書を送付すること で、滞納にならないよう注意喚起し た。また、電話や訪問での催告を随時 行った。滞納になっても早期の段階で 対応ができて大口滞納者の発生を防げ た。</p> <p>税務課と常に情報を共有、業務連携す ることによって、窓口の一元化、漏れの ない対応ができた。</p> <p>R5年度分の収納率は100%であった。 調定額：62,583,600円 収入額：62,583,600円</p> <p>指定管理者と密に連携をとり、こまめ な催促の連絡を行ったことにより、R5 の滞納世帯はなかった。</p>	後期高齢 者医療保 険 現年度収 納率	99.5%	99.9%	99.5%	99.9%	99.5%	99.9%	99.5%	100%	新規で普通徴収対象に なった方に口座振替依頼 書を回封し、口座振替を 促進するほか、納付相談 に来た方へ口座振替を促 すこととで納め忘れを防止 する。											
【都市建設課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>料金徴収事務がある他 課との情報共有を強化す る。</li> <li>指定管理者との連携を 維持し、市営住宅の家賃 （滞納分含む）徴収の強 化に努めるとともに、請 負者の更新時に家賃徴収 体制等も選定基準に加え 業者選定を行う。</li> </ul>	<p>普通徴収 口座振替 率</p> <p>90.0%</p>	普通徴収 口座振替 率	34.0%	29.0%	34.0%	33.6%	34.0%	30.0%	34.0%	26.1%	34.0%	34.0%										
			普通徴収 率	90.5%	99.0%	90.5%	91.8%	90.5%	94.3%	90.5%	94.7%	90.5%	94.7%	90.5%	99.0%	99.0%	99.0%	100%	99.0%	100%	99.0%	99.0%	選定



重点項目： 4. 事務事業の継続的な見直し

実施項目 【主管課】	実施内容	R5年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】			
			項目	R2 評価	R3 評価	R4 評価	R5 評価	R6 評価				
15 人事評価に基づく効果的で適正な人員管理 【総務課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めの期首面談により、組織目標、個人目標等を明確にし、認識の共有化を図る。</li> <li>・人事評価制度については、中間評価、期末評価の2回に分けて実施、それぞれの結果を勤勉手当に反映される。総合評価については、職員の昇給に反映する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任評価者に対して、研修を行い、制度の趣旨を再確認するとともに、評価者の趣意による業績評価及び能力評価の共通した技術を学び、人事評価について組織内における認識の共有化を図った。</li> <li>・定期的に評価者に対し、研修を行うとともに、検討委員会の意見を踏まえながら、人事評価制度の客観性・納得性・透明性・信頼性の確保に努めていくことが、能力・実績に基づく効果的な人事管理に繋がる。</li> </ul>	90.0% ○	97.0% ○	98.8% ○	90.0% ○	93.8% ○	90.0% ○	95.3% ○	90.0% ○		
16 定員管理の適正化 【総務課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年引上げを見据え、再任用制度による再雇用者を適正に配置できるような仕組みを構築する。</li> <li>・行政サービスの多様化、専門化に伴い一般事務職とは別に専門的知識を有した専門職を必要に応じ配置し、一般職とのバランスを図る。</li> <li>・会計年度任用職員の人数、業務等を明確にし、全体での適正な職員数を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年引上げによる職員の年齢構成の高齢化や職員の育児休業の増加による実働人員不足の懸念があったため、第4次計画を1年前倒しして計画を早直し、第5次かほく市定員適正化計画を策定した。</li> <li>・会計年度任用職員については、各課の任用計画書に基づき、任用数ヒアリングで各課の意見を聴取し、非正規職員との事務分担を分け、業務量と人数とのバランスを図った。</li> </ul>	適正化 検証 ○	適正化 検証 ○	適正化 検証 ○	適正化 検証 ○	適正化 検証 ○	適正化 検証 ○	適正化 検証 ○	適正化 検証 ○		
17 事務事業の整理合理化 【情報推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RPA及びAI導入の可能性や必要性を検証したうえで効果的に導入を行う。</li> <li>・先進事例調査・研究</li> <li>・職員向けに周知</li> <li>・かほく市にとつて導入効果が高いと思われる業務の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健診業務の一部」にRPAを活用し業務の効率化を図った。</li> <li>・タブレット端末を活用したペーパーレス会議（議会関連・部課長会議等）を推進した。</li> <li>・生成AIの利用ガイドラインを策定し、職員に通知した。（令和5年10月末）</li> </ul>	—			検証 ○	運用 ○	検証 ○	運用 ○	検証 ○	運用 ○	
【総務課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員定数削減及び制度の複雑化により、人事異動等の際の業務引継ぎが困難となっていることから、事務処理マニュアルの見直しを行い、内容の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務処理マニュアルはその内容に変更があった場合は更新するよう職員内のサーバーにも閲覧ができる。</li> <li>・R5年度については前年度に引き続き各課のマニュアルに併せ、職員全体や横断的に跨る各種マニュアルについても更新した。</li> </ul>	職員向け周知 ○			まとめ (検証) ○						
【総務課】			○	更新 ○	○	○	○	○	○	○	○	○